



箕面市長 倉田哲郎より ごあいさつ

早いもので任期の半分が過ぎようとしています。この間、2度の予算編成を経験する中で、赤字体質の脱却に向けて思い切った削減に取り組むとともに、将来への積極策も盛り込んで、箕面を前へ前へとドライブしてきました。

その成果として、2年連続して経常黒字をキープ。また、保育所の新設による大幅な待機児童対策、箕面シニア塾やシニア・ナビ創設による高齢者の活動支援、

さらに、みどり支援基金(みどりファンド)創設により市街地の緑化に着手するなど、就任当初から「みどり」「支え合い」「子育て」の3つのコンセプトを貫いています。

今年の夏からは、全19小中学校施設の耐震化&改修工事や、駅前の再整備もスタートします。完成したら、たくさんの笑顔が溢れることと思いますが、それまでは、市内を工事車両なども走りますので、どうか外出時には少し気をつけてお過ごしいただければと思います。

これからも市民の皆さんとともに“元気印の箕面”をつくりあげていきます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



箕面市長 倉田哲郎 まちづくりニュース

“市民のチカラ!”

2010年8月号

箕面の明日をつくる会 Fax 727-4326 箕面市小野原西1丁目10番34号

倉田市長の多忙な1日

東京トップセールス編

ここに掲げたのは事前に約束を入れていた省庁だけで、実はこれらのすき間を縫って、文化庁や国交省で飛び込みでのお願いに走り回りました。こうした分刻みの活動が可能なのも倉田哲郎市長の若さがある。ばこそと、つくづく感じるのですが、…にしても、市長の体力、知力、忍耐力!

- 06:00 新大阪駅 出発
- 09:00 (財)文字・活字文化推進機構
箕面 世界子どもの本アカデミー賞の協力依頼
- 10:00 民主党幹事長室
北大阪急行線延伸の要望
- 10:30 国土交通省 自動車交通局・道路局
新たなバス実証実験への支援依頼
- 11:00 厚生労働省 社会援護局 & 内閣府
障がい者制度改革推進会議に関する協議
- 12:00 昼食(ざるそばとカツ丼小のセット)
- 13:00 文部科学省 初等中等教育局
箕面・世界子どもの本アカデミー賞の協力依頼
- 14:00 国土交通副大臣面談
北大阪急行線延伸の要望
- 17:00 日本郵政・郵便局会社
箕面森町郵便局設置要望



市民の皆さんから寄せられた

声

ロビーの雰囲気良くなりました。

住民票が必要になって、久しぶりに市役所に行きました。住民票が発行されるまでロビーで待ったのですが、ロビーの雰囲気が以前とガラッと変わっていて驚きました。

何年か前に来たときのロビーは、薄暗くてどんよりした雰囲気でしたが、今は、大きなテレビが設置され箕面市のPRビデオが流れています。PRビデオには、倉田哲郎市長が出演され箕面の魅力を語っていました。いろいろな形で箕面市の魅力をアピールされているんだなあと感心していると、住民票の呼び出し番号がその画面に大きく表示されました。しかもこれらの設備は市への寄贈品とのこと。倉田市長は、経費を最小限に抑えてサービスをどんどん良くしておられますね。

これからも、陰ながら応援させていただきます。(K・Tさん)

夢ふくらむ手腕に期待大!

新緑の芽吹く5月に、滝道に「川床」を始められたことは、箕面市民や多くの観光客にとって、とっも素敵なおプレゼントとなったと思います。木々のざわめき、川のせせらぎそして新緑の薫りを十二分に満喫でき、落ち着いて箕面の滝道の良さを思う存分楽しませてくれています。

多くの関係者や許認可の調整など大変だったと聞いていますが、新緑の一番良い季節にオープンを間に合わせられた倉田哲郎市長の手腕は本当にさすがだと思います。

また、未来の箕面のための「北大阪急行の延伸」への取り組みにも大いに期待しています。しかし、これからが正念場。信念を持って箕面の明日のために邁進してください。

倉田市長にこれからも大いに期待しています。(Y・Hさん)

私たちの箕面市に全国最年少で誕生した倉田哲郎市長は、2年間トップギアで走り続けて成果を積み重ね、今ではその斬新な発想と卓越した実行力、発信力が、多くの市民から高い評価を得ています。

例えば平成22年度当初予算。箕面の宝「山なみやみどり」を将来にわたって守り活かす「山すそ景観保全制度」や「みどり支援基金」、高齢者の生きがい・地域活動を支援する「シニア塾」「シニア・ナビ」、府内初の小中学校の耐震化完了や保育所定員の大幅拡大、日本初の「ふれあい安心名簿条例」など、創意工夫が随所にみられます。

また箕面特産「ゆず」に光を当て、滝道古来の「川床」を復活させるなど、マスコミも巻き込んだ箕面PRを次々と打ち出して国・府の財源を着実に導入。構想レベルだった北大阪急行線延伸にも具体化の道筋をつけつつあります。

一方、長年赤字だった財政を再建し、2年

未来へ向けた正念場

トップギアで 前進ドライブ!!

**障害者就労巡り
新制度創設提案**
国に対し、県と箕面市
障害者の自立を目指した新
たな就業制度に取り組み果
大阪府箕面市は、国と同様の
制度を創設するよう提案して
いく。倉田哲郎市長と倉田
哲郎市長が16日に県庁で会談
し、意見が一致した。

県は2010年度、「社会的
事業所制度」を創設。一般
就労と作業所などで働く福祉
就労の中間的な形態で、障
害者は雇用契約を結んで最低
賃金が保障され、事業所への
補助金は国や市で分担する。
事業所は大津、近江八幡、甲
賀市に計8カ所あり、障害者
約50人が働いている。
箕面市は県に先駆けて同様の
「障害者事業所制度」を実
施。雇用機会が広がり、就労
にもつながっている。

県庁を訪れた倉田市長は
「国に新制度の創設を提案し
ていきたい」と意力を要請
倉田知事は「県には障害者の
人とない人が一緒に社会を
つくるという考えがある。一
緒にやりましょう」と賛同した。

朝日新聞
(2010・3・17 滋賀県欄30面)



滋賀県嘉田知事との会談の様子

蒔いた種をカタチに

こうした手腕と実績は、国土交通大臣へのダム問題直訴や、国「障がい者制度改革推進会議」部会委員への就任、滋賀県嘉田知事との障害者事業所制度の国への共同提案など、倉田哲郎市長の実力として各方面から注目を集めています。2年間全力で蒔いてきた種が大きく実る時期。今後ますますの活躍が期待されます。

倉田哲郎さんのブログ

36歳の日記

検索

ツイッター(つぶやき)へも、ココから!

<http://blog.kurata.tv/>

携帯電話でも見られます <http://mobile.kurata.tv/>



36歳の日記 - 箕面市長 倉田哲郎ブログ <http://blog.kurata.tv/>

箕面の未来に向けて挑戦し続ける
倉田哲郎市長の行動の軌跡を綴ったブログです。

安心・支え合い最優先!

箕面シニア塾とシニア・ナビを開設!!

倉田哲郎市長が「箕面大瀧萌ゆる」で共演したシニア劇団「すずしろ」の皆さんは、なんとニューヨークで公演されるほどパワフルに活動しておられます。

今はまさに、団塊世代の方々が仕事や子育てを引退して地域に戻ってこられるタイミング。こうしたシニアの方々のパワーや知識を地域やボランティアの活動につなげて、地域デビューを支援する「箕面シニア塾」と相談窓口「シニア・ナビ」が創設されました。皆さん、是非、市役所(別館2階)の相談窓口に行ってみてください!



倉田哲郎市長が劇団「すずしろ」と共演した「箕面大瀧萌ゆる」の一場面

高齢者世帯の訪問・生活実態の把握と地域福祉計画の策定!!

今年度、75歳以上の独居・高齢者世帯を民生委員・児童委員の方々が訪問し、生活実態調査が実施されます。得られたデータは、今後の福祉施策に役立てるとともに、「地域福祉計画」などの各種計画に活かされる予定です。

この地域福祉計画は、地域住民が地域の課題を見つけ出し、協力して課題を解決しようとする取り組みをまとめる計画で、市社会福祉協議会が策定する「地域福祉活動計画」とともに策定されます。すでに、続々と各小学校区で地域検討会「みんなで描く支え合いのまち」が開催されて、地域で互いに支え合う福祉の盛り上がりの輪が大きくなっています。

子育てしやすさ 日本一

保育所待機児童ゼロに向けて!!

昨年10月に保育所待機児童が200人にまで急増したことから「箕面市待機児童ゼロプラン」を策定。

平成23~26年度で保育所定員の330人拡大を図るもので、既存施設の活用転用を図るなど、厳しい財政状況のもとでも具体性の伴ったプランで、子育てしやすさが着実に実現されていきます。

時期	拡大定数
H23年4月	120人(第二総合運動場プール跡地に新設)
H23年4月	30人(箕面森町認定こども園新設)
H24年度以降	60人(彩都地区に保育所新設)
H25年度以降	100人(市立幼稚園転用)
H26年度以降	20人(市立保育所民営化に伴い拡大)

みのおっ子体力向上!

国の調査結果から、箕面市の子どもは持久力と敏捷性に課題があることが分かりました。これを契機に、乳幼児から成人までの体力向上のために教育委員会、健康福祉部が共同で「子どもの体力向上プラン」を策定しました。

このプランの一環として、小学生の持久力と敏捷性の向上をめざして全小学校でなわとびに取り組むとともに、本年2月には「オンラインなわとび大会」が開催されました。また「みのおっ子体力向上キャンペーン」として、体力向上リーフレットを配付するなど、地域をあげてからだを動かす習慣をつける取り組みが進められています。

「箕面・世界子どもの本アカデミー賞」を創設!

今年が「国民読書年」であることにちなんで、子どもの活字離れを防ぎ、読書意欲を高めるため、子どもたち自身が選んだ本や主人公を表彰する「箕面・世界子どもの本アカデミー賞」を創設します。子どもたちが物語に引き込まれて自然に本の楽しさを知るきっかけづくりとして、箕面から全国に発信する催しをめざしています。

見極めてGO!

将来を見越して“全力全開”の倉田流

ええっ、ホンマにイ? 北急延伸できんのお!

倉田哲郎市長のブログを読むと箕面の今の動きがいきいきと伝わってきます。ここでは、北大阪急行線の延伸の話題を紹介します。

阪急箕面線が今年、開通100周年を迎えました。鉄道は、まちを形づくる「背骨」です。倉田哲郎市長は、平成30年(2018年)開通に向け北急延伸に全力を挙げています。

北急延伸により、大阪都心部に移動しやすくなるだけではありません。箕面の一番の魅力である「みどり」に鉄道の利便性が加わることで、箕面全域でまちの価値が大きく高まり、また、新駅を基点として、市内のバス交通網も充実。さらに、船場地区をビジネスのまちとして大きく発展させる可能性も秘めているのです。

倉田哲郎さんのブログ

36歳の日記

<http://blog.kurata.tv/>

ぜひ一度、お読みください。倉田市長のビジョンがピンピン伝わってきて、市政に参加しているような気分になっちゃいます!



倉田哲郎市長は、箕面の負担や事業のしくみを見極め、「未来の箕面市財政に禍根を残さない」と判断。説明会では、最初は首をかしげていた参加者も、説明を聞けばなるほどと納得され、約8割の市民が北急延伸に「賛成」と回答するなど、実現への機運は大きく高まっています。

倉田哲郎市長は、「ここ1~2年が勝負!」と、国府や鉄道事業者との交渉に気合を入れて全力でがんばっています。

緑・住みやすさ最先端!

滝道で“川床”復活!!

箕面で“川床(かわゆか)”? そんなことできるの? ここでも倉田哲郎市長の“突破力”が発揮されました。滝道には明治から昭和初期にかけて川に張り出した茶店や休憩所があったようですが、これを川床の社会実験として復活。

規制が厳しくこれまでは実現できなかったものを、“自然を壊さずに多くの皆さんに楽しんでもらいたい!”という思いが通じ、地元事業者や大阪府の協力を得て実現したものです。落ち着いた雰囲気のある川床で食事を楽しみながら、箕面の豊かな自然や景観、風情をゆったり味わうことができます!



ま ち を き れ い に

まちの美化を推進する条例を制定

美しいまちで気持ちよく過ごしたい!という思いを実現するため、「まちの美化を推進する条例」を制定。全市域でごみのポイ捨てなどを罰則付きで禁止するとともに、エリアを指定して、美化活動に力を入れる団体を市が支援する仕組みを備えました。

「美しいまちに住みたい」という願いを実現するには、市民・事業者の方々の協力が不可欠です。身近なところから美しいまち箕面を守るため、みなさんも是非ご協力をお願いします。